

問題 自分の意見文は相手を納得させるものになっているだろうか？

**この単元に関連した領域の付いている力 (◆)**

◆書くこと (ア)  
 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。(小5, 小6)

目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にすること。(中1)

目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。(中2)

◆書くこと (ウ)  
 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(小5, 小6)

根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。(中1)

根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考てて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。(中2)

**本単元の目標**

**学びに向かう力、人間性等**  
 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

**単元終了時のめざす生徒の姿**  
 ・客観的に題材を分析し、伝えたいことを選ぶことができる。  
 ・表現の仕方j考え、自分の考えを分かりやすく書いて相手に伝えることができる。  
 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。

**思考力・判断力・表現力等**  
 書くこと(ア)目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。  
 書くこと(ウ)表現の仕方j考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。

**知識及び技能**  
 (2)情報の扱い方に関する事項 イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。

**この単元からつながっている領域の力 (◆)**

◆書くこと  
 高等学校 現代の国語  
 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(ア)

◆書くこと  
 高等学校 国語表現  
 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方j考えを工夫すること。(オ)

**他教科との関連**

【社会】公民的分野 第1章 私たちの暮らしと現代社会

【総合的な学習の時間】地域の伝統や文化、自然環境を生かした町づくりの取り組み

言語活動 「 15歳の主張 in 中村中学校 」

**基本の学習過程**

**第1次【題材の設定・情報収集】**  
 (1) 単元の見通しを持ち、単元計画を立てる。(テーマ、相手、目的、学習計画の決定)

【具体例】わたしは「食品ロス」をテーマに取り上げようかな。自分たちに身近なことも考えたいから、残食にも触れよう。そうすると、中村中の生徒を相手に食の大切さを訴えるような内容になるのかな？世界や日本の状況も調べてみて考えよう。

(2) (3) 信頼性を意識して情報を収集しながら自分の主張を決め、主張を支える根拠を集める。

【具体例1】中村中の残食量について給食担当の先生にインタビューしてみて、残食を減らすことを訴えたいと思ったよ。  
 【具体例2】主張を支える根拠として食品ロスや残食の記事を書いている色々なHPを見てみたよ。

**第2次【内容と構成の検討】**  
 (4) (5) 内容を検討し、構成メモを作成する。①自分の主張が伝わるか。②主張を支える根拠として使える情報か。の観点で構成メモを見直す。(本時)

【具体例1】友だちにアドバイスを求めたら、社会に目を向けてみてはどうかという意見をもらったよ。世界の飢餓についても調べてみよう。  
 【具体例2】インターネットで集めた情報が個人の書いたブログだから、信頼性が弱いな。自治体のホームページや新聞記事なども探してみよう。  
 【具体例3】主張の説得力を高めるために予想される反論を考て、情報を集めてみよう。

**第3次【考えの形成と記述・推敲】**  
 (6) (7) (8) 構成メモをもとに意見文を書く。説得力をもたせた文章になっているかの観点で文章を推敲する。

【具体例1】自分の考えが相手にわかりやすく伝わるように、語句や文末表現を工夫しよう。(表現の仕方)  
 【具体例2】自分の考えの根拠として必要な情報は、この部分だな。引用部分は「」でくっつけて明らかにしないといけないね。(資料の適切な引用)  
 【具体例3】文体は統一されている、誤字脱字や文のねじれもないな。読み手に伝わりにくい表現がないかも一度見直してみよう。(表記、叙述の仕方等)  
 【具体例4】「いただきます」の由来を冒頭に持ってきて、読み手に問題意識を持ってもらおう。(構成の工夫)  
 【具体例5】結びを抽象的にすることで印象が残るのではないかな。(表現の効果)

(9) 単元の振り返りをする。

【具体例】自分の主張を相手に納得させるためには、体験に基づいた具体例だけでなく、客観的に分析したり、信頼性のある情報を根拠としたりして述べるのが大事だと分かったよ。また、常に相手と目的を意識して、情報や表現の仕方j考えをj検討することで、どんどん考えが深まっていった気がするな。

生徒自ら学びを調整する学習活動のイメージ図

生徒が働かせる見方・考え方

集めた情報の客観性や信頼性について確認して、主張するためにふさわしい情報であるかj検討する。

説得力のある情報を選び、自分の考えが分かりやすい文章になるよう構成や表現の仕方j考えをj考える。

目的に応じた表現になっているかj確かめ、文章を整える。

**評価規準**

【知】意見文を書くために、信頼性を確かめながら情報を集めている。  
 【思】「書くこと」において、目的に応じた意見文となるよう、客観性と信頼性を意識し、情報を集めている。(ア)

【思】「書くこと」において、目的に応じた意見文となるよう意識して構成メモを書いている。(ア・ウ)  
 【主】進んで情報の信頼性を確かめ、学習の見通しを持って情報を集め、主張が伝わるかなどの観点で表現をj検討し、意見文を書いている。

【思】「書くこと」において、自分の考えが相手に伝わる意見文になるように表現を工夫している。(ウ)  
 【主】進んで情報の信頼性を確かめ、学習の見通しを持って情報を集め、主張が伝わるかなどの観点で表現をj検討し、意見文を書いている。

**生徒の実態と指導観**

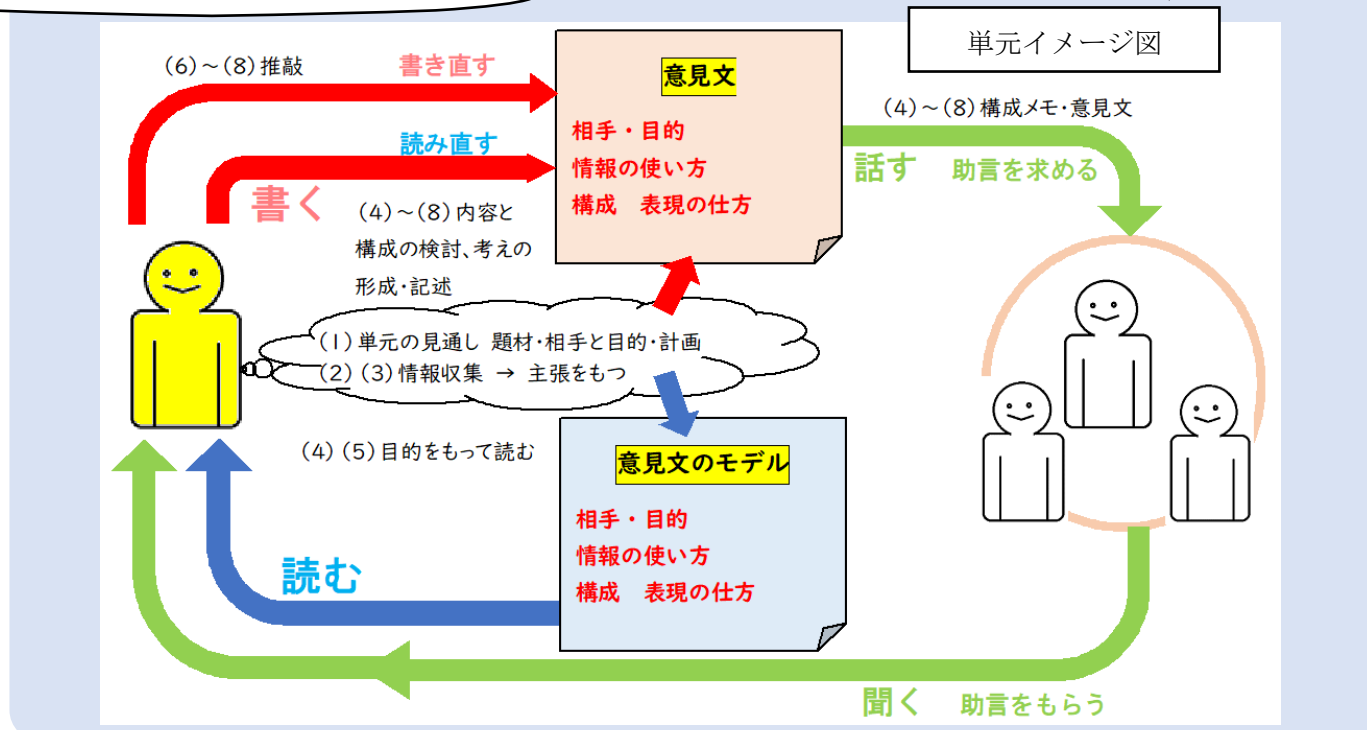
昨年度の高知県学力定着状況調査では、書くことの正答率が56.3%(全国比+11.3p)、読むことの正答率が66.2%(全国比+6.2p)となっており、学力が定着してきたことが読み取れる。一方、複数の資料を読み取った上で自分の考えを持ち、表現する問題では、根拠の明確さに欠けたり、正確な文章となっていないものも多く見受けられた。また、今年5月に実施した全国学力・学習状況調査では(意見文を読み、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して文章を整える)設問での正答率が低く(自校採点 28.7%)、文章全体を見通して相手に何を伝えたいのかを考え、意図的に表現を選んでいくことに課題が見られた。

以上の実態を受け、本単元では「15歳の主張 in 中村中学校」という言語活動を単元ゴールに据え、根拠を明確にするために客観性・信頼性の高い情報を集め、相手に伝わるよう表現を工夫して書く力を育成したい。

具体的には、第1次で題材の設定と情報収集、第2次で内容と構成の検討、第3次で考えの形成・記述を行う。生徒はこれまで人権作文や弁論大会などで意見文を書いてきた。最終学年にふさわしい内容にすることや弁論大会以外の発信方法もあることを生徒に伝え、自分ごととして取り組ませたい。

本時では、「集めた情報の客観性や信頼性について確認して、主張するためにふさわしい情報であるかj検討する。」という見方・考え方を働かせながら構成メモを作成したり、情報を収集したりすることで、相手に伝わる意見文の土台を作らせたい。

# 見方・考え方の成長が見える言語活動例と単元イメージ図



## 第6～8時 (意見文)

「いただきます」という言葉は、「神様にお供えしたものを食べることや、位の高い方から物を受け取ること」に由来するそうです。そう聞くと、小学生の頃に「命に感謝をしていただきます」をしなさい」と母に言われたことを思い出します。私たちが食べているものは、偉い「いただきます」ものである。私たちは果たして、常日頃からその意識を持って食べているのでしょうか。

農林水産省によると、世界では年間十三億トンの食料が廃棄されているそうです。そのうち日本の廃棄量は六百二十万トン。国民一人当たりが一日に茶碗一杯分を棄れている計算になります。私たちが茶碗一杯分を棄れているだけで、食糧に死んでいく人が多くいるといわれています。

「茶碗一杯」という言葉を見て、私はどきどきしました。私がどきどきしている給食が、まさに「茶碗一杯」くらいではないかと思ったりしました。世界を愛しながら自分の足元を汚す。それではないのではないかと強く思いました。

そこで、中村中学校三年生を対象にアンケートをとり、「給食を残さず食べている人」の割合を調べてみたところ、「いつも残さず食べる」と回答した人の割合は四十八パーセントでした。つまり、半分以上の人は給食を廃棄しているということです。

なぜ、給食を残してしまうのでしょうか。それは、給食を食べることが「当たり前」になって、作ってくれた人の存在や、命をくれた生き物の存在を忘れてしまっているからに他なりません。

そもそも、学校給食がなぜあるのか、その意義を知っていますか。文部科学省のホームページには次のようなことが書いてありました。

(1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。  
 (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。  
 (3) 学校生活を豊かにし、明るく社会的及び協同の精神を養うこと。  
 (4) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を重んずる態度を養うこと。  
 (5) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。  
 (6) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解を導くこと。

以上の六点が学校給食の意義だそうなんです。

このことを知り、私は自分のこれまでを思い出してみました。苦手で食べ物が出たとき、ダイエツトを意識していたとき、まだ食べられるにも関わらず残し、何の罪悪感も持たずに食缶へと放り込んでいたとき。これでは、「健全な食生活」を営めていないし、「勤労を重んずる」とや食にかかわる様々なことを「理解する」ことなど考えてすらいなかったと反省しました。

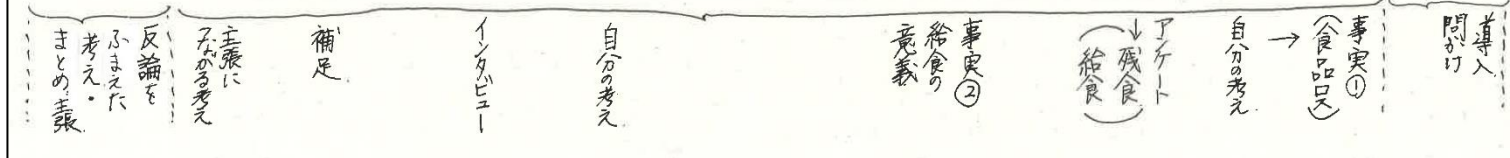
さらに、給食に携わっている人の話も聞いてみたいと思ひ、給食主任の〇〇先生に伺ってみました。先生は、「残食を減らしてくれたい。『食べる』ということに直結している。それに、郷土を愛することにも、『高知の食文化』という『食文化』もそうながら、みな、食べることをもっと大事にしてほしい。」

と語ってくださいました。

「高知の食文化」といって入っちゃう日」が高知県全体での取り組みで、地場産物を五パーセント以上活用することで地域の恵みや郷土料理のすばらしさを伝えようとしているということも、今回調べてはじめて知りました。私たちの健やかな成長を願って取り組まれているという人、口に入る野菜やお肉を作ってくれる人、調理をしてくれる人、学校まで給食を届けてくれる人、私たちは、自分が思っているよりずっと、誰かに支えられているのです。

もしかすると、「全部食べ切るの難しい」、「自分だけが残しているわけじゃないし」と考える人もあるかもしれません。たとえ全部食べられなくても、「まずは一口」の小さな一歩から始めてみてはどうでしょう。「いっしょにがんばろう」の気持ちを持って食べることを「いただく」気持ちで、私たちが本意の意味で成長させてくれるはずなんです。

そして、その一歩を誰か意識できたとき、はじめて世界が動くのです。



## 第4・5時 (構成メモ 1回目)

テーマ: 給食を残さないためには?

主張: 何となく残してはいいけど、給食は必ず考えながら作られているし、作ってくれた人たちや、命をくれた生き物に感謝して食べるのが大事だと思う。みんな、残さず食べよう!!

順番	項目	情報(要点)			
3	4	2	1	1	1
高知の食文化	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用
高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用
高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用

## 第4・5時 (構成メモ 2回目)

テーマ: 給食を残さないためには?

主張: 何となく残してはいいけど、給食は必ず考えながら作られているし、作ってくれた人たちや、命をくれた生き物に感謝して食べるのが大事だと思う。みんな、残さず食べよう!!

順番	項目	情報(要点)	考えや助言等		
1	2	3	4	5	6
高知の食文化	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用
高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用
高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用
高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用	高知県産物活用

- 「 」…集めた情報の客観性や信頼性について確認して、主張するためにふさわしい情報であるか検討する。
- 「 」…説得力のある情報を選び、自分の考えが分かりやすい文章になるよう構成や表現の仕方を考える。
- 「 」…目的に応じた表現になっているかを確認、文章を整える。

【本時の目標】 進んで、集めた情報の客観性や信頼性を確かめ、学習課題に沿って説得力のある根拠であるか検討しようとする。

【本時における言葉による見方・考え方】 集めた情報の客観性や信頼性について確認して、主張するためにふさわしい情報であるか検討する。

<p>流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、めあて</li> <li>2、メモの見直し</li> <li>3、確認</li> <li>4、メモの見直し</li> <li>5、まとめ 振り返り</li> </ol>	<p>振り返り</p> <p>次に生かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とのつながりが弱かった</li> <li>・信頼性の高い情報を集めていた</li> </ul>	<p>まとめ</p> <p>自分の集めた情報を検討した結果、〜〜だった。</p>	<p>☆集めた情報の客観性・信頼性</p> <p>☆主張と情報のつながり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的・相手</li> <li>○意見と根拠</li> <li>○根拠の適切さ</li> <li>○構成</li> <li>○反論</li> <li>○明確な主張</li> <li>○信頼性の確かな情報</li> <li>○語句・表現の効果的な使い方</li> </ul>	<p>めあて</p> <p>集めた情報は主張を支える根拠として使えるものか検討しよう</p>	<p>問題 「自分の意見文は相手を納得させるものになっているだろうか？」</p> <p>相手を納得させる</p> <p>   説得力</p> <p>根拠となる情報</p>	<p>15歳の主張 in 中村中学校</p> <p>◎深い学びの実現に向けた「問題」と「めあて」の工夫</p> <p>本単元では「根拠を明確にするために客観性・信頼性の高い情報を集め、相手に伝わるよう表現を工夫して書く力」を身に付けさせたいと考えている。そこで、意見文を書くという言語活動を設け、3年生にふさわしい意見文とするために「自分の意見文は相手を納得させるものになっているだろうか？」という問題意識を持たせるようにした。その問題を解決するために、本時では客観性や信頼性を確かめながら根拠となる情報を集め直したり、構成メモを書いたりすることで「根拠を明確にするためにより客観性・信頼性の高い情報を集める力」「主張とのつながりを確かめながら情報を検討する力」を身に付けさせたいと考え、「集めた情報は主張を支える根拠として使えるものか検討しよう」というめあてとした。</p> <p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て</p> <p>本時で働かせたい見方考え方は、「集めた情報の客観性や信頼性について確認して、主張するためにふさわしい情報であるか検討する」である。これらの見方・考え方を働かせるために、常にめあてを意識しながら学習活動を行えるよう、例を示して全体で確認するなどの支援を行う。</p>
---	--	--	--	---	--	---	---



<p>T: 前回までいろんな情報を集めて、その情報をもとに自分の考えを持ってきましたね。いよいよ、集めた情報と意見を結びつけていくわけですが、「相手の心に届く」には何が必要なのでしょう。</p> <p>S 1: 相手が納得するような情報があると思います。</p> <p>S 2: なるほどと共感するようなことを書くといいと思います。</p> <p>T: 「相手の心に届く」ためには、説得力や共感が必要そうですね。では、今日はどんなことをするといいでしょ。</p> <p>S 1: 自分の情報を確かめる。</p> <p>T: 自分の情報の何を確かめる？</p> <p>S 1: 説得力があるかどうか。</p> <p>T: どうやって確かめるといい？</p> <p>S 1: 他の人に相談してみるといいと思います。</p> <p>S 2: 他の情報を調べてみるのもいいと思う。</p> <p>T: なるほど。では、今日の学習は、主張がきちんと伝わるか、情報を確かめることが必要になりそうだね。</p>	<p>S 1: 「一人ひとりが認められる社会にしよう」と呼びかけるための情報って、これでいいと思う？</p> <p>S 2: もっと具体的なデータがあるといいんじゃないかな。</p> <p>S 1: どんなデータがいいだろう？</p> <p>S 2: 「認められずに苦しんでいる人がどれくらいいるか」について情報を集めてみるといいと思う。</p> <p>.....</p> <p>~ 全体指導 ~</p> <p>T: 皆自分で考えてみたり、話し合ったりして情報の「客観性」や「信頼性」について考えていたね。</p> <p>では、ここで今日の大事なポイントを押さえていこう。（動画の視聴）</p> <p>どんなポイントを意識して情報を見直していましたか？</p> <p>S 1: 主張を説明していました。</p> <p>S 2: アドバイスする人は、どんな情報を調べているかを確かめていました。</p> <p>S 3: ホームページの信頼性について話していました。</p> <p>S 4: 反論を考えようとしていました。</p> <p>T: そうですね。今までの学習でも意識してきたポイントを再確認していましたね。その中でも今日は、この2点を意識して検討を進めてみましょう。</p> <p>☆集めた情報の客観性・信頼性</p> <p>☆主張と情報のつながり</p>	<p>T: では、ポイントを意識しながら、再度自分のメモを見直してみましょ。情報を調べ直したり、友達に意見をもらったり、メモを直したり、自分に必要な調整をしてください。</p> <p>~ 構成メモの見直し（2回目） ~</p> <p>S 1: 「苦しんでいる人」で検索しても信頼性の高い情報が見つからないよ。何かいい方法はないかな？</p> <p>S 2: 「いじめ件数」について、高知県と全国について調べてみるとどうだろう？</p> <p>S 3: 反対の立場の人の意見も集めてみよう。</p> <p>S 4: 主張と根拠を見直してみると、この情報はいらぬな。削ってみよう。</p> <p>S 5: 僕は「LGBT」について調べて、こんな論の流れにしようと思ってるんだけど、どう思う？</p> <p>S 6: うーん、そもそもLGBTについてみんなきちんと理解しているのかな？もう少し丁寧な説明をした方がいいと思うな。</p> <p>※教師は期間指導をしながら、疑問を投げかけて思考を深めさせたり、支援を行ったりする。</p> <p>T: 主張を支える根拠は何なのかな。</p> <p>この情報とこの情報なら、どちらが説得力があるだろう。</p> <p>この情報を示したら、読み手はどう思うかな。</p> <p>~という情報を得るには~のページを検索してみるといいかもしれないね。 など</p>	<p>T: それでは、学習のまとめをしていきましょう。自分の集めた情報を検討してみて、どんなことに気づきましたか。ノートにまとめてみましょう。</p> <p>では、〇〇さん、どんなことを書きましたか。発表してください。（2~3名指名する）</p> <p>S 1: 自分の集めた情報を検討した結果、主張と情報のつながりが弱かったと分かった。</p> <p>S 2: 自分の集めた情報を検討した結果、情報の信頼性は十分だと分かった。</p> <p>T: 最後に、振り返りましょ。次に生かしたいことを具体的に書いてましょ【振り返り】（数名発表させる）</p> <p>S 1: 自分の集めた情報は信頼性が高くなかったんで、各県庁が出しているデータを調べ直そうと思います。（情報の再収集）</p> <p>S 2: 自分の主張だけでは説得力が足りないから、アンケートをとって皆の考えを生かしたい。（内容の検討）</p>
--	---	--	---

<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <p>めあてが引き出せるよう、「相手の心に届くにはどんな情報が必要か」という疑問を持たせるようにする。</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <p>始めに考えてみた後でポイントを示し、めあてに向けて着目すべき点を明確にする。</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <p>話し合いや個人思考が深まるよう、適宜疑問を投げかけながら考えさせる。</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p> <p>相手の心に届く意見文を書くことに活用できそうなことが振り返れるようなまとめをさせる。</p>
--	--	--	--

【主】 進んで、集めた情報の客観性や信頼性を確かめ、学習課題に沿って説得力のある根拠であるか検討しようとする。

評価規準